

の各地域の農家の方々に呼びかけ、積極的な協力態勢の出来た所から事業に着手して参りたいと思っております。

有田 農業経営のなかで、基幹作物の米だけでは成り立たないが何か良い振興対策はありませんか。

町長 米・畜産だけでは町の農業の振興等には確かにならないと考えます。米も生産調整が行われておりますし、畜産にいたしましたも限界があります。油谷町でないといけないというアイデアなど、新しい構想で特産物の振興に取り組んで行く必要があります。町内でも有田さんなど、ハウスイチゴの栽培が順調に行われておりますが、今後町と農協とで充分話し合いをしながらできるだけお手伝いをしたいと考えています。

昭和五二年度から町総合農政推進協議会を設置し、地域農業の振興策を審議していただいておりますが、本年度は更に組織を充実してまいり農業振興の面で知恵を出しあっていたらいいと思っております。

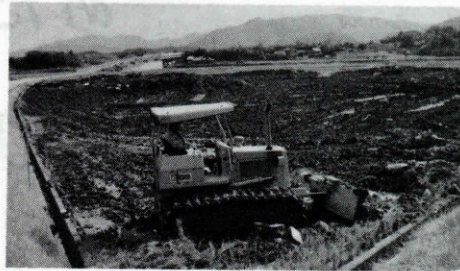
有田 農家戸数や農業人口は年々減少している。これに伴って農



有田茂さん

業の後継者も少ない。若い後継者が増えるような対策についての取り組みが遅れているのではないかと考えますが、その点につきましてはいかがでしょうか。

町長 農業は人づくり・土づくり・村づくりと云われておりますが、人づくりの中で大きな問題が後継者の問題になるうかと考えます。後継者の方が多くなり、農村に活



県営ほ場整備

力がでてくるのが一番理想であります。

農業経営のなかで専業農家をどう育成するか、また兼業農家をどうのようにするか、いろいろな条件整備が必要になってまいります。

そのためには農業の生産基盤の確立のためには、ほ場整備も後継者対策の一環となると考えます。

辻永 町の基本構想の中で農業に対する適地適作をどのように進められる計画でしょうか。

町長 農作物では米作が主体であります。米・アラス他の作物(特産)

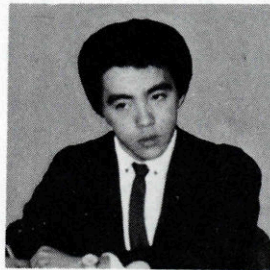
や米・アラス畜産・果樹など地域の気象に合ったもので採算以上のものがなくてはならない。こうした面についても、県農業改良普及所と充分協議を進めたいと考えています。

辻永 宇津賀・向津具地区は干魃常習地帯ですが、この対策についてはいかがでしょうか。

町長 菱海・蔵小田地域の平沼地についてはダム建設によって用水確保をしておりますが、向津具・宇津賀地域や傾斜地の水田は溜池に依存しておりますため、町は五、六年前から老朽溜池の改修や溜池の新設にも力をいれています。

優良肉用牛の育成改良を

大汐 現在農業大学校で畜産の勉強をしております。卒業後は向津具に帰り農業後継者として畜産を



大汐光晴さん

やりたいと考えています。町における技術面繁殖率向上のための施策についておたずねします。

町長 町役場の機構の中では、農林課畜産係の方で各種事業や行政のお世話をしておりますが、技術指導等については、県の北部家畜保

健衛生所・県農業改良普及所・県改良協会から指導を受けています。また、豊浦・大津・美祿の三郡と美祿市・長門市を含めた黒毛和種振興協議会があり、年に二回程度和牛についての最高権威者を講師に招聘して指導を受けています。

大汐 農産物の自由化による経営規模確立のための町の施策や事業についてお聞かせいただけますか。

町長 貿易の自由化につきましては、因政上の大きな問題であります。町といたしましては、外国に

負けない肉質の良い牛の飼育に努めていきます。昭和五三年度から優良肉用牛導入事業として、但馬牛の継続導入により肉用牛の改良増殖に力を入れております。また一方では少数飼育から五頭・一〇頭と多数飼育も進めて参りたいと考えております。特に、最近宇津賀農協・向津具農協も熱心に取り組んでいただいておりますが、町も農協と一体となって多頭飼養農家の育



優良肉用牛(但馬牛)

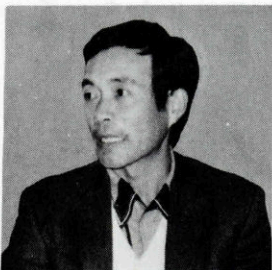
成に努めて参りたいと考えています。畜産農家の経営安定をはかるため肉用牛価格安定基金制度があり、昭和五八年度には、全頭加入を促進したいと考え、町も充分の助成等について検討中であります。

有田 松くい虫の被害の關係ですが、現在向津具半島を中心に多くの被害が出ております。町有林も向津具には多いと思いますが、伐採跡地の利用などがありましたらお聞かせください。

町長 向津具の町有林の殆んどが被害を受け、今迄に広範囲の伐倒を実施しております。跡地には杉、松の植栽を行っておりますが、畜産農家から跡地の利用について強いご要望もありますので、農協がこれに対応しようというお気持ちがありますれば、畜産面にも、また林産物の特産であるシイタケ栽培などに一カ所程度利用を願おうかという気持ちをもっております。司会 次は漁業の問題に移って行きたいと思っております。

海洋牧場の造成を

奥藤 各漁港は漁港の改修など漁



奥藤久雄さん